



F A S 通信

平成17年11月号
株式会社福地建装
上磯町中野通 321 番地
TEL0138-73-5558

NO.031

乾燥対策は万全？

11月になり、空気が少しずつですが乾燥してきています。空気の乾燥は風邪の原因になるウイルスを繁殖させますし、不快な静電気も発生させます。そもそも冬になるとどうして空気が乾燥してしまうのでしょうか？

原因は空気の性質そのものにあります。空気は温度により水分を抱えられる量が決定する性質があり、気温が下がると水分を抱えられる量がどんどん少なくなってしまうのです。ですから、空気に一生懸命水分を与えても、気温が低ければ抱える事ができないので、自ずと乾燥してしまいます。

ただでさえ乾燥している冬の時期に、窓ガラスが結露してしまうのは、窓ガラスが冷やされることにより、このメカニズムが働いているからです。

快適な空気環境を作るには低温部分を作らないで、24時間全館を暖めることが必要です。そうすることで、初めて空気が水分を抱えることが可能になります。家のどこかに寒いところがあれば、結露はもちろん乾燥の原因にもなり、健康を損なう原因になります。ちなみに、カビの菌糸やダニは、湿度が低い方が良いのですが、インフルエンザウイルスには湿度が高い方が良いという場合もあります。

湿度が人に及ぼす影響

湿度が高いほうが良いケース

電撃刺激（静電気等）の観点から・・・70%以上（下限：40%）

インフルエンザウイルス・・・50%以下で不活性（活動を抑制）

湿度が低い方が良いケース

カビの菌糸・・・55%で不活性

ダニ・・・70%で活性、50%以下で不活性（活動を抑制）

防露・・・60%以下

省エネ建材・住宅普及協議会・・・編著 後悔しない「快適な家づくり」の知恵袋より

空気にもバリアフリーを！

床の段差をなくし、手すりを付け、通路やドアの幅などを広げるバリアフリーは浸透してきています。しかし、お年寄りにとって本当に怖いのは「空

気の段差」なのです。

お風呂でお亡くなりになる人の数は年間1万人を越えており、交通事故で亡くなる人よりも多いこととなります。原因は「空気の段差」、つまり部屋ごとの温度差なのです。死亡者のほとんどが高齢者で、そのほとんどが冬季、つまり寒い時期に集中していることからそのことが分かります。日本人はお風呂に浸かることが好きですから、寒い所と暖かい所を行き来するたびに起こる血圧の上下が体に負担をかけるのです。通路やドアが狭くて死ぬことはありませんが、温度差は人を殺してしまう危険性もあります。

24時間全館暖房しても光熱費がそんなにかからない家が、更に加速する高齢化社会のスタンダードになることは間違いありません。

「ファースの家」11月の過ごし方

朝晩の空気はひんやり冷えてきています。そろそろ暖房器の電源を入れる時期です。「ファースの家」で多く使われています蓄熱暖房器は、電源を入れても暖房として使えるのは翌日以降となりますので、早めに電源を入れてください。暖房器が複数台あるお宅では、玄関などの寒い場所にある暖房器から電源を入れるのがポイントです。温度差は、結露や乾燥・ヒートショックの原因になりますし、寒い所を先に温めることで家中が効率よく温まりますよ。暖房器が複数台設置しているお施主様は、全ての暖房器をバランス良くお使いになり、今年の冬はいつもよりも快適にお過ごしください。

冬の知恵袋

～ガラス製品を割ってしまったら～

ガラス製品を落として割ってしまったら、慌てて掃いたりこすったりしたら、畳の目とか板目にくい込んでとっても危険なんだよ！

こんな時には、小麦粉で小さな団子を作って、破片の上に張りつけるようにおくんだ。そうすると、団子に細かいガラスの破片がくっついて綺麗に取れるんだよ。

小麦粉のかわりにパンのやわらかい部分でもいいんだけど、小麦粉団子のほうが効果があるんだ。それに、パンだともったいないでしょ。

窓ガラスを割ってしまったときは、破片を全部捨ててしまわないで、ガラスの種類が分かるように一部分を残しておく、修理を頼むときに便利だよ。

